

「日本の美」総合プロジェクト懇談会 （第5回）
ジャポニスム 2018 総合推進会議（第2回）

議 事 次 第

日時：平成 29 年 11 月 17 日（金）
18 時 10 分～18 時 40 分
場所：官邸 2 階大ホール

1 開 会

2 総理挨拶

3 議 事

- （1）ジャポニスム 2018 の企画案の検討状況について
- （2）ジャポニスム 2019（仮称）の開催国について
- （3）意見交換

4 閉 会

《配布資料》

- 資料 1 ジャポニスム 2018 の企画案の検討状況について（案）
- 資料 2 ジャポニスム 2019（仮称）開催国について（案）

《参考資料》

- 参考資料 1 「日本の美」総合プロジェクト懇談会の開催について
- 参考資料 2 ジャポニスム 2018 総合推進会議の開催について

平成 29 年 11 月 17 日

- 歌舞伎，能・狂言，雅楽等伝統文化から，現代演劇・美術やマンガ・アニメ展，日本映画の上映等まで幅広く企画実施。若冲展，琳派展や，日本文化の原点とも言うべき縄文展も実施。
- 2020 年の東京オリパラ大会を見据え，日本のお祭りや伝統工芸等を通じて，地方の魅力を発信し，インバウンド観光の促進，和食・日本酒等日本製品の海外展開に貢献する事業も実施。
- 実施が決定した主な事業は以下のとおり。詳細は 11 月 22 日に国際交流基金ジャポニスム事務局が記者発表を行う。

展覧会

- 「チームラボ 境界のない世界」展
- 「池田亮司」展
- 「Enfance / こども時代」展
- 「深みへ-日本の美意識を求めて-」展
- 「井上一」展
- ルーヴル美術館特別展示—名和晃平彫刻作品
- 「若冲—〈動植綵絵〉を中心に」展
- 「安藤忠雄」展
- 「縄文」展
- 「明治」展
- 「京都の宝—琳派 300 年の創造」展
- 「ジャポニスムの 150 年」展
- 「キャラクター vs. 都市：虚構×現実」展
- 「藤田嗣治」展
- 「仏像展示—古都奈良の祈り」展

舞台公演

- 和太鼓
- 雅楽
- 歌舞伎
- 能楽
- 現代演劇
- 野田秀樹 演出作品
- コンテンポラリーダンス
- 文楽
- 日本舞踊
- 宮城聡 演出作品
- 蜷川幸雄 演出作品
- 初音ミクコンサート

映像

- 河瀬直美監督特集
- 日本映画の 100 年
- テレビ日本月間
- 『FOUJITA』上映会

生活文化 他

- 「日本の食と文化を学ぶ」「日本の食と文化を楽しむ」「日本の食と文化を考える」各シリーズ
- シンポジウム・講演シリーズ
- 日本の花火
- エッフェル塔ライトアップ
- 伝統工芸シリーズ
- 禅文化週間
- 「地方の魅力」週間—祭りと文化
- 茶の湯
- 柔道
- いけばな

ジャポニスム 2019（仮称）開催国について（案）

平成 29 年 11 月 17 日

外交上の重要性及び地域バランス等を総合的に勘案し、以下の国・地域での開催を提案する。

1 米国

我が国と自由や民主主義といった基本的価値を共有する同盟国であり、この基礎をなすのが日米両国の幅広い交流である。また、米国は世界の最新の文化芸術が生まれる地でもある。以上を踏まえ、日米関係をより重層的に強化していくためにも、広く一般国民にも行き届く形で、我が国の文化・伝統に関する理解の裾野を広げることは有意義。

2 東南アジア

長年にわたる心と心の交流が積み重ねられ、日・ASEAN友好協力 40 周年に当たる 2013 年、安倍総理から、新しいアジア文化の創造を目指すイニシアティブ「文化のWAプロジェクト」が打ち出された。これに基づいて、2020 年までの 7 年間を目途として、集中的な文化交流事業を実施してきているところ、本イニシアティブの集大成を兼ねて、2019 年に「日本博」を実施することは時宜を得ている。

「日本の美」総合プロジェクト懇談会の開催について

〔平成 27 年 10 月 7 日〕
〔内閣総理大臣決裁〕

1. 趣旨

我が国の文化芸術の振興及び次世代への保存継承を図るとともに、文化芸術と日本人の美意識・価値観を国内外にアピールし、その発展及び国際親善と世界の平和に寄与するための施策の検討に資するため、「日本の美」総合プロジェクト懇談会（以下「懇談会」という。）を開催する。

2. 構成

- (1) 懇談会は、別紙に掲げる有識者により構成し、内閣総理大臣の下に開催する。
- (2) 内閣総理大臣は、構成員の中から、懇談会の座長を依頼する。
- (3) 懇談会は、必要に応じ、関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。

3. その他

懇談会の庶務は、外務省及び文化庁の協力を得て、内閣官房において処理する。

(別紙)

「日本の美」総合プロジェクト懇談会構成員名簿

(五十音順、敬称略)

うちなが こ
内永 ゆか子 NPO法人J-Win理事長

くしだ かずよ
串田 和美 俳優・演出家

こうだ まいん
幸田 真音 作家

こばやし ただし
小林 忠 美術史学者(江戸時代絵画史)、岡田美術館

長

せん げんしつ
千 玄室 茶道裏千家 前家元

(座長) つがわ まさひこ
津川 雅彦 俳優・演出家

はやし まりこ
林 真理子 作家

もりぐち くにひこ
森口 邦彦 染色家、友禅作家

ジャポニスム 2018 総合推進会議の開催について

平成 28 年 11 月 24 日
内閣総理大臣 決裁
平成 29 年 11 月 14 日
一部改正

1. 趣旨

現在、日仏政府間においては、日仏友好 160 周年である 2018 年(平成 30 年)に、日本文化の粋を集め、その多様かつ普遍的な魅力を発信する「ジャポニスム 2018」を、パリを中心に開催することが合意されている。今後、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や訪日外国人観光客の拡大等も見据えつつ、ジャポニスム 2018 の具体化及び開催準備並びにその後の展開等に係る審議を行うため、ジャポニスム 2018 総合推進会議(以下「推進会議」という。)を開催する。

2. 構成

- (1) 推進会議の構成は、別紙のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、関係者に出席を求めることができる。
- (2) 推進会議に総括主査及び主査を置く。総括主査及び主査は、推進会議における議論の整理に向けた調整を行う。
- (3) 推進会議に議長補佐を置く。議長補佐は、推進会議において議長を補佐し、議論の内容を踏まえて、ジャポニスム 2018 の推進に関し関係府省と必要な調整を行う。

3. その他

- (1) 推進会議の庶務は、外務省及び文化庁の協力を得て、内閣官房において処理する。
- (2) 前各項に定めるもののほか、推進会議の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

(別紙)

| | | |
|--------|-------|----------------------------|
| 議長 | 安倍晋三 | 内閣総理大臣 |
| 構成員 | 河野太郎 | 外務大臣 |
| | 林 芳正 | 文部科学大臣 |
| (議長補佐) | 野上浩太郎 | 内閣官房副長官 |
| (総括主査) | 津川雅彦 | 「日本の美」総合プロジェクト懇談会座長、俳優・演出家 |
| (主査) | 安藤裕康 | 元駐イタリア大使 |
| | 内永ゆか子 | NPO法人J-Win理事長 |
| | 串田和美 | 俳優・演出家 |
| | 幸田真音 | 作家 |
| | 小林 忠 | 美術史学者 (江戸時代絵画史)、岡田美術館長 |
| | 千 玄室 | 茶道裏千家 前家元 |
| | 林真理子 | 作家 |
| | 森口邦彦 | 染色家、友禅作家 |